

2025年度

施設番号	66-0336
施設名	昭栄保育園
施設所在地	昭島市拝島町 3-17-11
法人名	社会福祉法人 昭島愛育会

1、活動のテーマ

【テーマ】

- ・運動遊び
鉄棒、平均台、マットを活用し、日々の遊びの中で体幹を鍛え、怪我の防止に繋げていけるよう取り組んでいく。

【テーマ設定理由】

- (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
- ・昨年度の取り組みの効果として、体幹が鍛えられ、転倒が少なくなってきた。
 - ・昨年度からの鉄棒、マットを活用してのサーキット運動「エール」の取り組みに、今年度平均台を加えた。サーキット運動の幅を広げ、毎日の取り組みを楽しんで行っていく中で、更に体幹を鍛え、怪我の防止に繋げたい。

2、活動スケジュール

- ・4月～6月 前年度の活動を振り返りながら、各器具でのバリエーションを増やしていく。
- ・6月 運動会でサーキット運動を披露することを決定。
- ・6月～10月 運動会に向けて、「エール」のアプリを活用して、バリエーションを増やし、子ども達が楽しんで行えるサーキット運動の内容に構成し、実践する。
- ・10月 運動会にてサーキット運動を、年齢別に披露する。
- ・2月 雲梯を購入。職員、子ども共に使用方法などを学び、園庭遊びで自由に遊び使っていく。

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- (活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
- ・ほぼ毎朝、サーキット運動を楽しむ。
 - ・約束事は「押さない」のみ。
 - ・「エール」の講師による園内研修を行い、器具の使い方、エールの考え方などを職員が学び、実践に生かしていく。
 - ・エールのアプリを活用し、器具の使い方のバリエーションを増やす。
 - ・鉄棒、平均台に加え、雲梯も導入することで更なる運動の幅を増やす。

4、探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ・毎日、ホールにて鉄棒、平均台、マットを使ってのサーキット運動を10分間ずつ年齢ごとにアップテンポの曲に合わせて楽しむ。
- ・運動会に向けての取り組みに向けて、園庭でも行っていた。
- ・鉄棒にぶら下がる、マットでジャンプする、平均台でバランスをとる等、様々な使い方をしていく中で体幹を鍛えていく。
- ・雲梯の導入により、高さへの挑戦する気持ち、ぶら下がる力、登ることへの好奇心などを育む。
- ・職員の見守りの下、子どもが自分で安全に遊ぶ。

〈活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり等〉

(活動の内容、活動中に見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・初めて取り組む内容を説明する時には、前のめりに集中して話が聞けて、やってみたい気持ちが表情などで伝わってくる。
- ・怪我に繋がる事、危険を感じられること等は、曲や動きを止めて、「全体応答」で話し、子どもが自分で判断して安全に行っているよう促していった。
- ・サーキットの途中で保育者とハイタッチすることが子どものやる気に繋がる。
- ・年長児クラスでは、新しい技を覚えると、1人で挑戦したいと自発的に行う姿があった。できない児ももっと練習したいとの声も聴かれた。

※活動の様子がわかる写真 2枚以上を貼付 (ホームページで公開します)



5. 振り返り

振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・「エール行くよ」の声掛けに「やったー」と毎回張り切ってホールに向かう姿が多かった。
- ・鉄棒のぶら下がりや腕力、握力がつき、平均台でバランス力、マットでジャンプ力などが付き、体幹が鍛えられていると感じる。転び方で手が出るようになり上手になったと感じられる児が増えた。
- ・雲梯に挑戦する児が増え、マメを作りながらも繰り返しぶら下がって出来たところを保育者に見てもらおうのを喜んでいる。
- ・毎日取り組むことで習慣化し、取り組みを楽しみにしている姿もある。楽しんで行えていることが良かった。